



心ゆたかに

三芳町立藤久保中学校 学校だより 第14号

令和3年3月13日(土)発行(卒業生号)

学校教育目標「自ら考え進んで行動する生徒」

卒業証書授与式

今年の卒業証書授与式も新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、参列者と式次第を最小限に絞った形で行われることになってしまいました。昨年度と違うところは、1家庭1人ではありますが保護者の方にも参列していただけたところです。今年度も残念ながら来賓と在校生の参列はかないませんが、教職員一同、心より卒業生の門出をお祝いしたいと思っております。以下に式辞を掲載いたします。

卒業証書授与式 式辞

梅からバトンを受けた感謝の木のハクモクレンと校庭の桃がきれいに咲き誇り、みなさんの門出を祝福しているかのようです。本日このような形ではありますが、三芳町立藤久保中学校第37回卒業証書授与式を挙行できますことをうれしく思います。ただ今、75名の卒業生に卒業証書を授与いたしました。本校卒業生は4,489名を数えました。

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。今、みなさん一人一人に渡した卒業証書には「中学校の課程を卒業したことを証する」と記されています。これは9か年の義務教育を終え、今後は自らの意志と判断および責任において、それぞれの進路での新しい生活が始まるということを意味しています。みなさんが大きく成長した母校、藤久保中学校で学んだことを誇りに、新しい世界に大きく羽ばたいてください。

私にとって藤久保中学校に赴任して以来5度目の卒業証書授与式です。したがって、みなさんのことは、入学してから卒業するまで見届けることができました。また、修学旅行でも一緒に時を過ごすことができ、たくさんの思い出が残っています。入学式の時の、少し大きめの制服に身を包み、緊張しながらも担任の呼名に元気よく返事をして一礼する皆さんの初々しい姿を今でも覚えています。以来、3年間、みなさんの成長ぶりをみなさんの傍で見届け、本日、卒業の日を迎えられたことに感動しています。

私のみなさんに対する印象は、「勉強に前向きな子供達」でした。授業に真面目に黙々と取り組む姿が思い出されます。学年の先生方は、もっと活発に授業に臨んで欲しかったようですが、みなさんは前向きに学習に取り組み、着実に成果を挙げていきました。本来であれば、最上級生となったみなさんが、様々な場面で1・2年生を引っ張り、藤久保中学校を盛り上げてくれるところを見せてくれるはずでした。しかし、令和2年2月28日、みなさんの学校生活は突然奪われてしまいました。本来であれば2年生としての締めくくりをし、3年生として1年生を迎え、最上級生として、藤久保中学校の顔として、立派な姿を見せてくれるはずでした。そのような中でも、例年よりは縮小傾向ではあったものの、体育祭・合唱祭は行うことができました。期待どおり3年生は場を盛り上げる立派な姿を見せてくれました。藤久保中の伝統は引き継ぐことができたでしょう。ありがとう。

そんな、みなさんには、どんなことがあっても、「プラス思考で、前向きに考えること」と「決してあきらめないこと」の二つを心に秘め、強く生きて行ってくれることを願っています。

西川悟平さんという方の話をします。西川悟平さんは、ニューヨークを拠点に世界で活躍する世界的なプロのピアニストです。15歳でピアノをはじめました。普通は、3歳頃から英才教育を受け、名立たる先生に付き、猛レッスンを重ね、一流の音楽教育を受けた人の中から群を抜いたほんの一部の人がプロのピアニストとして活躍することができるそうです。しかし、西川悟平さんがピアノを始めたのは15歳です。プロになるには遅すぎる年齢でした。まず、そこで「決してあきらめない」が発動されます。「人の倍、練習すればいいじゃないか。」と考え、実行したのです。猛練習の成果は現れ、ピアニストとして活躍するようになります。しかし、まだ、プロではありません。24歳の時、デイビッド・ブラッドショーさん、コスモ・ブオーノさんという世界的なピアニストのコンビに才能を見出され、ニューヨークに渡り、活躍するようになります。15歳からピアノを始めたということがコンプレックスになり、常に、猛練習をします。3時間の睡眠時間以外をピアノの練習に費やしたこともあったそうです。26歳の時、それまでの無理がたたって、ピアノを弾こうとすると指が硬直して内側に折れ曲がってしまう病にかかってしまいました。アスリートや作家・楽器奏者などに多いといわれる「ジストニア」という脳の病を発症してしまったのです。プレッシャーと猛練習により、自分で神経を痛めてしまい練習すればするほど悪くなっていき、医師からは「一生ピアノは弾けない。」と宣告されたそうです。一時は、右手は親指・人差し指・小指の3本、左手は親指・人差し指の2本の5本しか動かなかったそうです。プロのピアニストとして活躍していこうとした矢先の発症です。絶望で一時は鬱になってしまったそうです。その状態から脱出できたのは「プラス思考で、前向



きに考えること」ができたからだそうです。その時西川さんは「右手3本動けば、メロディーが弾ける。和音が弾ける。左手2本動けばベースが弾けるじゃないか。」と考えられたことが、復活の第一歩となったそうです。今は、左手は発症当時のまま親指と人差し指の2本、右手は5本が動くようになり、7本指のピアニストとして、聴く人の魂を揺さぶり、感動を与える演奏をしています。

コロナ禍の中、みなさんが置かれている現状は、「あれもできない、これもできない。」など制限が多く、とにかくマイナスに考え、あきらめてしまいがちです。しかし、そんなときには、西川悟平さんが病を克服するきっかけになった「プラス思考で、前向きに考えること」「決してあきらめないこと」を思い出し、できないことに目を向け嘆くのではなく、「あれもできるじゃないか。これもできるじゃないか。」と、今、できることに目を向け、プラス思考で考え、決してあきらめず前向きに生きて行ってください。みなさんの輝かしい未来とこれから迎える新たな世界で、みなさんが大いに活躍してくれることを期待しています。

むすびに、ご臨席くださいました、保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお喜び申し上げます。お子様はとても立派に成長しました。とても頼もしくなりました。これまで、慈しみ育ててこられた皆様にとって、お子様の晴れの姿に感慨ひとしおのものがあろうかと拝察いたします。新たな門出をするお子様の輝かしい前途を心より祝福申しあげますとともに、入学以来、常に温かいご支援をいただきました保護者の皆様に、御礼申し上げます、式辞といたします。

後援会の皆様ありがとうございます

本校には「後援会」があります。藤久保3区の区長西内様を会長とし、藤久保2区、3区、5区の区の代表の方や、本校PTAのOB・OGの方など多くの方々により組織されており、主にアルミ缶回収を行い、本校教育活動に必要な物品を寄贈いただいています。今までに、入学式・卒業式のレッドカーペットや家庭訪問用の自転車、体育館のピアノの椅子、ハンドマイク、ウェルカムボード（ホワイトボード）凍結防止の塩化カルシウム等々様々なものを買っていただきました。今年度は凍結防止用塩化カルシウムを10袋買っていただきました。ありがとうございました。

卒業生進路先一覧

県公立

朝霞高等学校	朝霞西高等学校	大宮武蔵野高等学校	川越高等学校
川越工業高等学校	川越女子高等学校	川越総合高等学校	川越初雁高等学校
川越南高等学校	芸術総合高等学校	坂戸西高等学校	志木高等学校
所沢北高等学校	所沢高等学校	所沢中央高等学校	新座総合技術高等学校
新座柳瀬高等学校	富士見高等学校	ふじみ野高等学校	松山高等学校
松山女子高等学校	和光国際高等学校		

県内私立

秋草学園高等学校	浦和実業学園高等学校	埼玉平成高等学校	川越東高等学校
秀明英光高等学校	城北埼玉高等学校	聖望学園高等学校	東野高等学校
武南高等学校	星野高等学校（女子）	星野高等学校（共学）	細田学園高等学校
武蔵越生高等学校	山村学園高等学校		

県外市立

淑徳高等学校	城北高等学校	日本大学鶴ヶ丘高等学校
--------	--------	-------------

私立通信制課程

KTC 中央高等学院（おおぞら高等学校）	埼玉みらい高等学院（未来高等学校）	N高等学校
----------------------	-------------------	-------

<表彰>

○埼玉県体育協会体育優良児童生徒表彰	3-1 関野 杏 さん	3-2 寺島 佑 さん
○埼玉県教育委員会優秀生徒（学業）表彰	3-2 逆瀬川 真貴 さん	
○埼玉県産業教育振興会表彰	3-1 藤田 和 さん	

<輝く藤中生！>

○埼玉県図工美術中央展	特選	3-1 岡崎 祥大 さん	3-1 弓 野 絆 さん
○入間地区図工美術展	入選	3-1 鈴木 未来 さん	3-2 市川 優空 さん
		3-2 寺島 佑 さん	3-2 櫻井 里緒 さん
○町内図工美術展	入選	3-1 小手 結樹 さん	3-1 小西 真央 さん
		3-2 武智 晶也 さん	3-2 最上 貴幸 さん

○第りんり俳句大賞 年間優秀句

中学生の部 秀逸 3-1 竹田 文奈 さん 「公園に誰も居ないが蝶は舞う」

<学校表彰>

○学 び 賞	3-1 小松平隼人 さん	3-2 松本 瑠偉 さん
○思いやり賞	3-1 戸部 虹輝 さん	3-2 坂本 美幸 さん
○健 康 賞	3-1 川野 博大 さん	3-2 吉田 悠成 さん